

第217回 全経簿記検定試験 上級 一商業簿記一

解 説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1 固定資産の割賦購入

(1) 第一法（利息調整勘定を用いる方法）

① 購入時

土地は利息を含まない現金購入価額で計上し、未払金を支払総額で計上する。差額である利息相当額を利息調整勘定で処理する。

(借方)	土	地	30,000	(貸方)	未	払	金	30,120
(〃)	利	息	調	整	勘	定	120	

② 支払時

1回目の支払額を計算し、未払金を取り崩す。同時に、1回目の利息相当額の利息調整勘定を取り崩す。

(借方)	未	払	金	10,060	(貸方)	現	金	10,060					
(借方)	支	払	利	息	60	(貸方)	利	息	調	整	勘	定	60

※ 1回目の利息：30,000円×2.4%×1か月/12か月＝60円

※ 未払金：30,000円÷3回＋60円＝10,060円

(2) 第二法（利息調整勘定を用いない方法） ※リース会計と同様

① 購入時

土地及び未払金を現金購入価額する。

(借方)	土	地	30,000	(貸方)	未	払	金	30,000
------	---	---	--------	------	---	---	---	--------

② 支払時

均等額の未払金を取り崩し、支払額との差額を支払利息とする。

(借方)	土	地	10,000	(貸方)	現	金	10,060
(〃)	支	払	利	息	60		

問題2 組織再編（株式移転、株式交換）

(1) 単独株式移転（A社がX社を設立）

株式の保有比率はA社株主：X社＝200株(X株)：100株(A株)であり、A社が実質的な取得企業となる。従って、X社(形式上の親会社)では、A社株式をA社の株主資本相当額で計上する。

(借方)	A	社	株	式	7,000	(貸方)	資	本	金	7,000
------	---	---	---	---	-------	------	---	---	---	-------

※ 10,000円(諸資産)－3,000円(諸負債)＝7,000円

(2) 共同株式移転（B社とC社がY社を設立）

株式の保有比率はB社：C社＝200株(Y株)：50株(Y株)であり、B社が実質的な取得企業となる。従って、Y社(形式上の親会社)では、B社株式をB社の株主資本相当額で計上し、C社株式を時価で計上する。

(借方)	B	社	株	式	5,000	(貸方)	資	本	金	5,000
------	---	---	---	---	-------	------	---	---	---	-------

※ 6,000円(諸資産)－1,000円(諸負債)＝5,000円

(借方)	C	社	株	式	3,000	(貸方)	資	本	金	3,000
------	---	---	---	---	-------	------	---	---	---	-------

※ 100株(C社発行済み株式総数)×0.5株(交付数)×60円(B社株式の時価)＝3,000円

(3) 株式交換（Z社によるD社の完全親会社化）

Z社が取得企業であるため、D社株式を時価で計上する。

(借方)	D 社 株 式	4,000	(貸方)	資 本 金	4,000
------	---------	-------	------	-------	-------

※ 200 株 (Z 社株式交付数) × 20 円 (Z 社株式の時価) = 4,000 円

問題3 総合問題

1. 現金

(1) 整理仕訳

① 売掛金回収の誤記帳

本来、売掛金を 960 円減額すべきだが、690 円と誤記帳しているので差額の 270 円を追加で減額する。

(借方)	現 金	270	(貸方)	売 掛 金	270
------	-----	-----	------	-------	-----

② 売掛金貸倒れの誤記帳

本来、売掛金の貸倒れとして処理すべきだが、現金回収としていたもので、現金を減額し、貸倒れの処理を行う。ただし、貸倒引当金残高が不足しているので、残額を貸倒損失とする。

(借方)	貸 倒 引 当 金	120	(貸方)	現 金	400
(〃)	貸 倒 損 失	280			

③ 原因不明額の処理

原因不明の残額を雑損失とする。なお、科目の指定があるので雑損勘定では誤答となる。

(借方)	雑 損 失	20	(貸方)	現 金	20
------	-------	----	------	-----	----

※ 修正後帳簿有高：59,790 円 (前 T/B 現金) + 270 円 (上記①) - 400 円 (上記②) = 59,660 円

現金実際有高：59,790 円 (前 T/B 現金) - 150 円 = 59,640 円 ∴ 雑損失：59,660 円 - 59,640 円 = 20 円

(2) 解答の金額

- ★ 現金：59,640 円 (実際有高)
- ★ 売掛金：11,300 円 (前 T/B 売掛金) - 270 円 (誤記帳修正) = 11,030 円
- ★ 貸倒損失：280 円
- ★ 雑損失：20 円

2. 商品

(1) 総平均単価：

$$\frac{10,100 \text{ 円 (前 T/B 繰越商品)} + 168,400 \text{ 円 (前 T/B 仕入)}}{100 \text{ 個 (期首商品数量)} + 1,600 \text{ 個 (当期仕入数量)}} = 105 \text{ 円/個}$$

(2) 商品帳簿棚卸高：90 個 (帳簿棚卸数量) × 105 円/個 = 9,450 円

(3) 評価

- ① 数量評価：{90 個 (帳簿棚卸数量) - 85 個 (実地棚卸数量)} × 105 円/個 = 525 円 (棚卸減耗費)
- ② 価格評価：正味売却価額の方が平均単価よりも高いため、評価損は生じない。

(4) 整理仕訳

(借方)	仕 入	10,100	(貸方)	繰 越 商 品	10,100
(借方)	繰 越 商 品	9,450	(貸方)	仕 入	9,450
(借方)	棚 卸 減 耗 損	525	(貸方)	繰 越 商 品	525

(5) 解答の金額

- ★ 繰越商品：9,450 円 (当期末商品) - 525 円 (棚卸減耗損) = 8,925 円
- ★ 仕入：10,100 円 (前 T/B 繰越商品) + 168,400 円 (前 T/B 仕入) - 9,450 円 (当期末商品) = 169,050 円
- ★ 棚卸減耗損：525 円

3. 貸倒引当金

(1) 整理仕訳

(借方)	貸倒引当金繰入	666	(貸方)	貸倒引当金	666
------	---------	-----	------	-------	-----

※ {11,030 円(修正後売掛金) + 22,270 円(電子記録債権)} × 2% = 666 円

(2) 解答の金額

★ 貸倒引当金繰入／貸倒引当金 : 666 円

4. 仮受金

(1) 整理仕訳

(借方)	仮受金	300	(貸方)	償却債権取立益	300
------	-----	-----	------	---------	-----

(2) 解答の金額

★ 償却債権取立益 : 300 円

5. 固定資産

(1) 備品

① 備品A

(借方)	減価償却費	500	(貸方)	備品減価償却累計額	500
------	-------	-----	------	-----------	-----

※ 2,500 円 ÷ 5 年 = 500 円

② 備品B

(借方)	減価償却費	150	(貸方)	備品減価償却累計額	150
------	-------	-----	------	-----------	-----

※ 1,500 円 ÷ 5 年 × 6 か月 / 12 か月 = 150 円

(2) 建物

① 改良工事の完了

(借方)	建物	32,000	(貸方)	建設仮勘定	32,000
------	----	--------	------	-------	--------

② 減価償却 (耐用年数の変更あり)

(借方)	減価償却費	5,000	(貸方)	建物減価償却累計額	5,000
------	-------	-------	------	-----------	-------

※ {180,000 円(前T/B建物) - 72,000 円(前T/B建物減価償却累計額) + 32,000 円(前T/B建設仮勘定)}
÷ {18 年(期首時点の残存耐用年数) + 10 年} = 5,000 円

※ 期首時点の残存耐用年数

- ・ 72,000 円(前T/B建物減価償却累計額) ÷ 180,000 円(前T/B建物) ÷ 30 年 = 12 年(経過年数)
- ・ 30 年(耐用年数) - 12 年(経過年数) = 18 年

(3) 解答の金額

- ★ 備品減価償却累計額 : 1,000 円(前T/B備品減価償却累計額) + 650 円(減価償却費) = 1,650 円
- ★ 建物 : 180,000 円(前T/B建物) + 32,000 円(前T/B建設仮勘定) = 212,000 円
- ★ 建物減価償却累計額 : 72,000 円(前T/B建物減価償却累計額) + 5,000 円(減価償却費) = 77,000 円
- ★ 減価償却費 : 500 円(備品A) + 150 円(備品B) + 5,000 円(建物) = 5,650 円

6. 有価証券

(1) 満期保有目的債券

① 未収利息

(借方)	未収利息	15	(貸方)	有価証券利息	15
------	------	----	------	--------	----

※ 3,000 円(取得原価) × 2% × 3 か月 / 12 か月 = 15 円

② 減損処理

(借方)	投資有価証券評価損	1,200	(貸方)	満期保有目的債券	1,200
------	-----------	-------	------	----------	-------

※ 3,000 円(取得原価) - 1,800 円(時価) = 1,200 円

(2) その他有価証券

① 端数利息の修正

(借方)	有価証券利息	10	(貸方)	その他有価証券	10
------	--------	----	------	---------	----

※ 2,000 円(取得原価) × 1.2% × 5 か月 / 12 か月 = 10 円

② 未収利息

(借方)	未収利息	10	(貸方)	有価証券利息	10
------	------	----	------	--------	----

※ 2,000 円(取得原価) × 1.2% × 5 か月 / 12 か月 = 10 円

③ 時価評価

(借方)	その他有価証券	100	(貸方)	その他有価証券評価差額金	100
------	---------	-----	------	--------------	-----

※ 2,100 円(時価) - 2,000 円(取得原価) = 100 円

(3) 解答の金額

- ★ 未収利息 : 15 円(満期保有目的債券分) + 10 円(その他有価証券分) = 25 円
- ★ 投資有価証券評価損 : 1,200 円
- ★ 満期保有目的債券 : 3,000 円(前T/B満期保有目的債券) - 1,200 円(減損分) = 1,800 円
- ★ その他有価証券 : 2,010 円(前T/Bその他有価証券) - 10 円(端数利息) + 100 円(評価益) = 2,100 円
- ★ 有価証券利息 : 69 円(前T/B有価証券利息) + 25 円(未収利息合計) - 10 円(端数利息) = 84 円
- ★ その他有価証券評価差額金 : 100 円

7. 社債

(1) クーポン利息

50,000 円(額面金額) × 2%(表面利子率) = 1,000 円(期中で処理済み)

(2) 償却原価法適用額

49,428 円(発行価額) × 2.4%(実効利子率) - 1,000 円(クーポン利息) = 186 円

(3) 整理仕訳

(借方)	社債利息	186	(貸方)	社債	186
------	------	-----	------	----	-----

(4) 解答の金額

- ★ 社債利息 : 1,000 円(前T/B社債利息) + 186 円(償却原価法適用額) = 1,186 円
- ★ 社債 : 49,428 円(前T/B社債) + 186 円(償却原価法適用額) = 49,614 円

8. 退職給付

(1) 整理仕訳

① 掛金の拠出

(借方)	退職給付引当金	700	(貸方)	仮払金	700
------	---------	-----	------	-----	-----

② 退職給付費用の計上

(借方)	退職給付費用	780	(貸方)	退職給付引当金	780
------	--------	-----	------	---------	-----

※ 937 円(勤務費用) + 111 円(利息費用) - 270 円(期待運用収益) + 20 円(数理計算上の差異) ÷ 10 年 = 780 円

(2) 解答の金額

★ 退職給付引当金 : 5,550 円(前 T/B 退職給付引当金) - 700 円(掛金) + 780 円(退職給付費用) = 5,630 円

★ 退職給付費用 : 780 円

9. 剰余金の処分等

(1) 整理仕訳

(借方)	繰越利益剰余金	1,500	(貸方)	仮払金	1,500
(借方)	繰越利益剰余金	500	(貸方)	任意積立金	500

※ 資本金の 4 分の 1 を超える準備金が既に計上されているので、配当に伴う準備金は不要である。

(2) 解答の金額

★ 利益準備金 : 23,400 円(前 T/B 利益準備金) ※変化なし

★ 任意積立金 : 3,000 円(前 T/B 任意積立金) + 500 円(計上額) = 3,500 円

10. 支払地代

(1) 整理仕訳

(借方)	前払地代	2,400	(貸方)	支払地代	3,800
(")	長期前払地代	1,400			

※ 前払地代 : 4,800 円(前 T/B 支払地代) × 12 か月 / 24 か月 = 2,400 円

※ 長期前払地代 : 4,800 円(前 T/B 支払地代) × 7 か月 / 24 か月 = 1,400 円

(2) 解答の金額

★ 前払地代 : 2,400 円(12 か月分)

★ 長期前払地代 : 1,400 円(7 か月分)

★ 支払地代 : 1,000 円(5 か月分)

11. 消費税等

(1) 整理仕訳

(借方)	仮受消費税等	32,200	(貸方)	仮払消費税等	16,840
			(")	未払消費税等	15,360

(2) 解答の金額

★ 未払消費税等 : 15,360 円

12. 法人税等

(1) 整理仕訳

(借方)	法	人	税	等	39,000	(貸方)	仮 払 法 人 税 等	19,000
						(〃)	未 払 法 人 税 等	20,000

(2) 解答の金額

★ 未払法人税等 : 20,000 円

13. 当期純利益の計上

(1) 振替仕訳

(借方)	損	益	94,227	(貸方)	繰 越 利 益 剰 余 金	94,227
------	---	---	--------	------	---------------	--------

(2) 解答の金額

★ 繰越利益剰余金 : 123,450 円 (前T/B繰越利益剰余金) - 1,500 円 (配当金) - 500 円 (任意積立金)
+94,227 円 (当期純利益) = 215,677 円